

概要

10 月 7 日、2 年生のゼミ毎ポスター発表会が行われた。10 月 22 日に控えた SSH 第 1 回学校公開ポスター発表に備えた時間であり、各班しっかりと準備をして臨んだ。同じゼミの同輩だけでなく、1 年生も各自 2 つのゼミを選択し、聴衆として参加した。以下は、各ゼミの副ゼミ長による報告である。

発表会の内容

物理ゼミ

声をはきはきとして聞き取りやすくなっていたが、質問で痛いところを突かれて声が小さくなる場面もあった。すべての実験を発表に盛り込むのは難しくなってきた。どこを切り捨ててどこをフォーカスするのかを決める必要がある。



数学ゼミ

ポスターの字が小さく後ろからだ見えにくかった。内容が難しくなると理解していない人が多いのか質問が減るように感じた。

情報ゼミ

想定していた時間通りに進行することができた。お互いの発表から良いところを盗み、自分の開発に利用しようと考えた。不明瞭な部分について言及し、改善できた。

生物ゼミ

全体としてはまだまだ煮詰められる研究が数多くあり、聴衆のことを意識した発表をするよう努めることが重要だと感じた。一方で質疑応答は今までで一番活発であり有意義なものにできたと思った。

地学ゼミ

例年と比べ天文班が多く、データの収集が天候によって大きく左右されるため苦戦を強いられた。その中でも見る人が興味を持ちやすいものが多くあった。

国語ゼミ

全体的に落ち着いた雰囲気の下で行われた。1,2 年共に集中して発表を聞いており、すき間なく質疑応答がなされていた。意匠を凝らしたポスターが多く見られた。

家庭ゼミ

実際に製作した「すべりにくい布草履」を見せながら発表していたものの、気づいていない人が何人かいたので、もう少し目立つように示そうと思う。実験の方法や考察に関してもう少し詳しく説明してほしいと質問があったが口頭でしっかり答えられていた。先生からは、「ポスターデザインの見直しについて指摘されたので次の提出までに修正する」、また、「これからはこの研究をどのようにして高齢者に伝え、彼らの生活に役立てていくかということも具体的に考えるように」、ともアドバイスをいただいたので、そこについても考えていきたい。

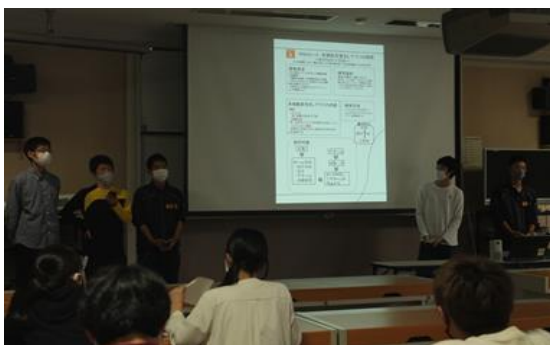
化学ゼミ

実験方法が適しているかどうかという点での改善案がいくつかの班で見られた。1 年生から質問があまり出なかったのが残念だったが、2 年生にとって良い経験になったようだ。去年よりも全員が発表の仕方が改善しており、成長を感じた。

英語ゼミ

今回の発表は英語で行われた。発表の仕方、内容ともにレベルが上がっているのを感じた。質疑応答に関しても対応が丁寧でレスポンスも早く、質問がやすく良かったと思う。

反省点としては、英語での発表になり原稿を見る人が増えたことがあげられる。TA、先輩方からは発表することで聴衆に発見が与えられるかどうかを確認することというアドバイスがあった。



公民ゼミ

聴衆を動かしながら、前半の班は4回、後半の班は3回発表を行ったことで、発表者は話し方、間の取り方などが上達していったように思える。「元気な公民ゼミ」を掲げ、質問が絶えない発表会を期待していたが、今回は少し厳しかった。今回の反省をいかし次回の体育館での発表をより良いものにしていきたい。また、担当の先生からは少し苦言もあったため、先生にも納得してもらえ発表にしたい。

保体ゼミ

全体的に実験が進歩しており、興味深いものとなっていた反面、被験者が少なかったり、よく考えて実験を進めていない部分があったりと、まだ突き詰める余地があると感じた。あくまで中間発表であるので次回までの計画を立てて、さらに興味深い発表に仕上げていきたい。

災害研究ゼミ

75、76回生ともに質疑応答の時間に多くの質問をしていたので、ポスター発表者がポスターの改善点を見つけられており、次につなげるための発表会としてとても良いものになった。互いの発表を見ることで刺激が増え、自分の学術研究に対する意欲もより湧いてきた。この時間での経験をもとに、これからの学術研究をより円滑に進め、本番で成功させたい。

音楽ゼミ

多くの生徒の前での発表だったので、緊張感があった。発表では結論につながったデータのみを提示していたところ「ほかにどんなデータがあったのか」という質問がいくつかあった。内容を知っている自分たちだけでなく、初めて聞いた人でも疑問に思わないような説明をする必要があると思った。また、もっと声を大きくはっきり話すことを意識すべきだと思った。

地歴ゼミ

最初は質問が少なかったが、後半になるにつれ、75、76回生ともに多く質問をするようになった。文系のゼミのため、実験などを行うことが難しく論理的な研究をするために各班苦勞したと思うが、ポスター・発表の出来栄えから努力が感じられた。先生やTAの方からも質問をたくさんいただいた。



編集後記

各ゼミ、各班にとって非常に有意義な時間となったことが発表会の内容からわかった。発表の仕方に改善が見られた一方、声の大きさ、聴衆を意識するなど、指摘を受けたゼミもいくつか見受けられる。最後の発表に向けて、75回生全員で少しでもいいものにしていきたいと思った。